

研究科教授会における学位論文に関する説明について

学位論文の受理及び合否判定については、教授会での審議の効率化を図るため、関係資料を事前に配布していますが、この趣旨を活かし、教授会の審議の一層の効率化を図るため、これらの説明にあたっては次の要領を基本とする。

在学期間短縮に関する説明要領（該当者の場合）

本学位論文申請に先立ちまして、学則第 31 条第 1 項ただし書きによる博士後期課程の在学期間の短縮並びに学位申請について、〇月〇日開催の〇〇学域会議で検討の結果、事前の了承をいただいております。

学位論文受理に関する説明要領

1. 学位申請者〇〇〇〇（氏名）の研究経緯は、配布してある履歴書のとおりで、現在は〇〇〇（現職）です。
2. 申請者の研究業績は配布資料（資料 4）のとおりで、そのうち学位論文に直接関係するものは、〇〇〇（該当論文名）です。
3. 論文の要旨は配布資料のとおりですが、要約しますと〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇（約 200 字）です。
4. 本論文は、〇月〇日の〇〇専攻会議（学域会議）で検討の結果、都市環境科学研究科 教授会に受理申請してよい旨、了承を得ております。

学位論文の合否判定に関する説明要領

1. 申請の学位の論文は、〇月の都市環境科学研究科 教授会で受理されました。その後〇回の審査会を開催し、また、〇月〇日に発表会を行い、学内〇名の出席を得て活発な討議を行いました。
さらに、本論文に対する最終試験を実施し、試験をパスしました。
（論文博士の場合、以下を追加）
また、この申請は論文博士ですので、学力試験を実施し、別添のような合格案を得ています。
2. 本論文の主たる成果は、〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇（約 200 字）です。
なお、本論文について、〇月〇日の〇〇学域会議で検討の結果、合否判定を都市環境科学研究科 教授会にかけてよい旨、了承を得ています。